

# まちの話題

山都町茶道教室から被災地へ

夏休み茶道教室の子どもたちが、今年8月に大雨で被害を受けた広島県への義援金を教育委員会に渡しました。この義援金は、夏休み茶道教室に通った小学生と矢部高校茶道部が、11月3日(祝日)に行われた矢部地区総合文化祭で「子ども呈茶」を開催した際に、お客さんから頂いた料金の一部です。11月6日に児童・生徒の4人が、「被災地へ義援金として渡してください」と山下明美教育長に渡しました。義援金は日本赤十字社熊本県支部を通じて、広島県大雨災害義援金として送られます。



## ヤマメさん元気ですね!

11月28日、清和小学校児童がヤマメの放流をしました。毎年、清和小学校で実施しているこの放流は、緑川漁業協同組合が豊かな水産資源の確保と河川環境を守る心を養ってもらうことを目的に緑川の支流になる大矢川に放流しています。当日は、清和小学校の1、2年の児童がヤマメの話聞いた後、ヤマメをバケツに移して放流しました。



## 愛の1円玉募金伝達式

山都町老人クラブ蘇陽支部で取り組まれている愛の1円玉募金活動が本年も展開され、去る12月16日、蘇陽総合支所において伝達式が行われました。今年で19年目を迎えるこの伝達式では、山都町老人クラブ蘇陽支部の中村勲支部長から愛のズッシリ詰まった273,208円が目録が山都町社会福祉協議会会長の甲斐利幸会長へと手渡されました。



## 金内保育園児もち配り

12月16日、交通安全安全キャンペーンの一環として、金内保育園の園児たちが交通安全の願いを込めて餅を配りました。当日は風が冷たいなか、金内地区の沿道で、運転中のドライバーに「交通安全をお願いします。」の元気な掛け声とともに園児が作った餅を配りました。餅は保護者会と一緒に安心安全のコイ農法の田んぼで育てた餅米で作られています。餅を貰ったドライバーからは「安全運転に気をつけます。」といった言葉が園児たちにかかけられていました。



## ハイカラ市

12月21日、旧浜町会館の駐車場でハイカラ市が開催されました。当日は気温も低く、雪もちらつく天候の中、数多くの出店があり賑わいを見せました。会場内では餅つきも行われ、つくたての餅の振る舞いもあつたほか、ステージイベントも行われ、演奏会や、女性たちによる俵さし大会、山都ころっけ早食い競争も行われ、会場は熱気に包まれました。



## 幽玄な竹明かりで年越しを

12月31日から元旦にかけて、男成神社の参道でみたけ竹灯かりが開催されました。これは、男成神社に初詣に訪れる人々を幻想的な竹灯かりで迎えようと、みたけ竹灯かり実行委員会が企画したものです。大晦日の晩は雨風が強く、開催が心配されましたが、点灯の時間には収まり、参道は幽玄な竹明かりの灯かりに包まれました。神社の近くを通りかかった初詣客も足を運び、写真に収めたりしていました。



## 無病息災を願い大どんどや

1月11日、通潤橋前の田んぼで毎年恒例となったどんどやが開催されました。浜A自治振興会主催で行われたこのどんどや。午後1時の合図にあわせて点火されると、勢いよく一気に燃え上がり、竹のはじける音が通潤橋周辺に響き渡っていました。会場ではそのほかにもぜんざいなどの振る舞いも行われ、地域住民はもちろん、通潤橋を訪れた観光客も足を止め、どんどやを楽しんでいました。



## 七福神から福まき

1月11日、旧下名連石小学校の体育館で「下名連石新春ふれあい祭り」が開催されました。今年で22回目を迎えたこの祭りを、毎年恒例となった新春の催しを楽しみに、下名連石地区外からも多くの住民が集まりました。矢部中学校プラスバンド部と消防音楽隊HAL合同による演奏や山風華のダンス、地元青壮年部による獅子舞の披露などがありました。また、年男・年女が扮した七福神の豆まきが行われ、会場は一気に盛り上がりました。

